

手向けの眞方に

花束を

R18  
ADULT ONLY





Presented by †kC  
YUMENIKKI fan book

手向の貴方に



花束を

この度はお手にとってくださり誠にありがとうございます！！  
初めてのコピー本製作なのでお見苦しい点もあるかと思いますが  
情熱は詰めました！！！！セコ窓は！尊い！一部精神的窓セコ描写が  
あります！あとちょっぴりシリアス！！  
言い訳はあとがきにて！！！！！！！！



先生は  
お昼ご飯  
食べないのですか？



見ての通り君の  
クラスの採点に追われ  
飯を食べる暇もない

なるほど  
それは災難で



ああ  
それはな――



待て、  
なぜそうなる

私の  
自家製卵焼きを  
進呈しましょう！



そんな  
災難な先生に  
朗報です！

!?

ガタン



バツの  
悪そうにした先生は  
一度私の目を見る



これ以上  
調子に乗るなという  
先生の合図だ

←確信犯



ほ、  
本当に  
食べる  
のか？

糖分補給は  
必要ですよ  
せんせ



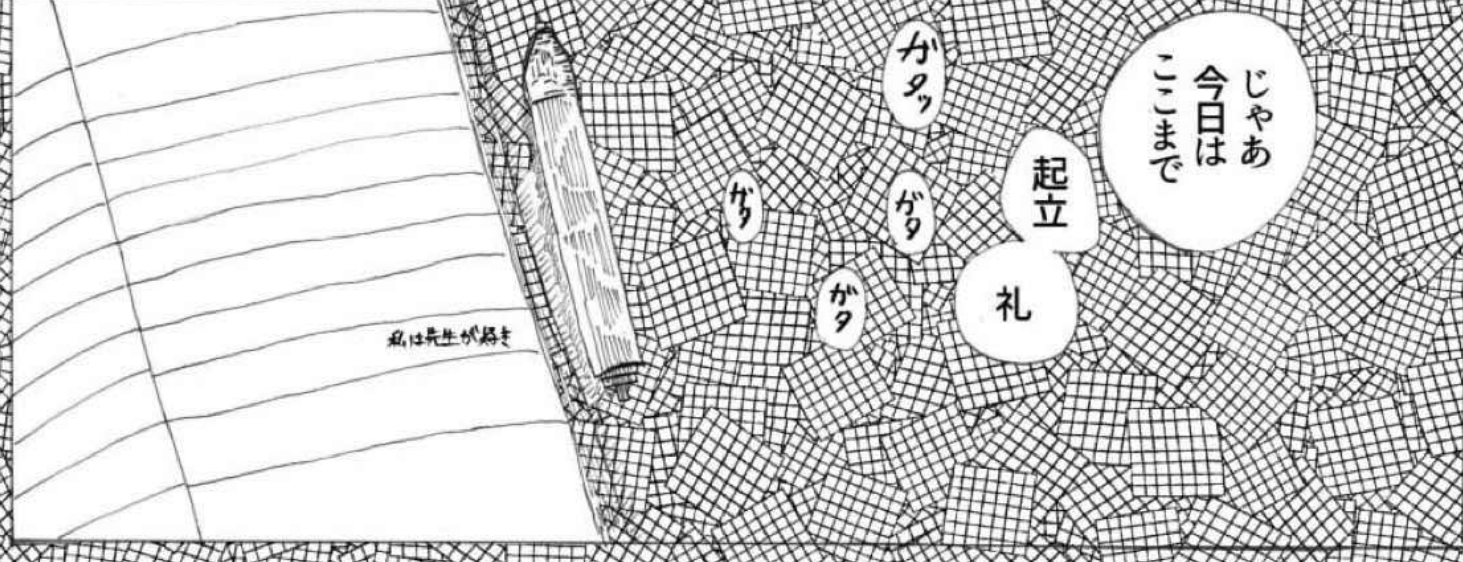
ああ  
 切れ長の  
 思慮深い目  
 普段は  
 素っ気無いけど  
 なんだかんだで  
 世話を焼いて  
 くれるところなど  
 先生が  
 奏でる音楽は  
 もちろん  
 好き  
 鍵盤を  
 弾く細やかな  
 動作をする  
 綺麗な指



先生のステキな  
部分はあげたら  
キリがないのだ



ほんとうに  
キリがないのだ

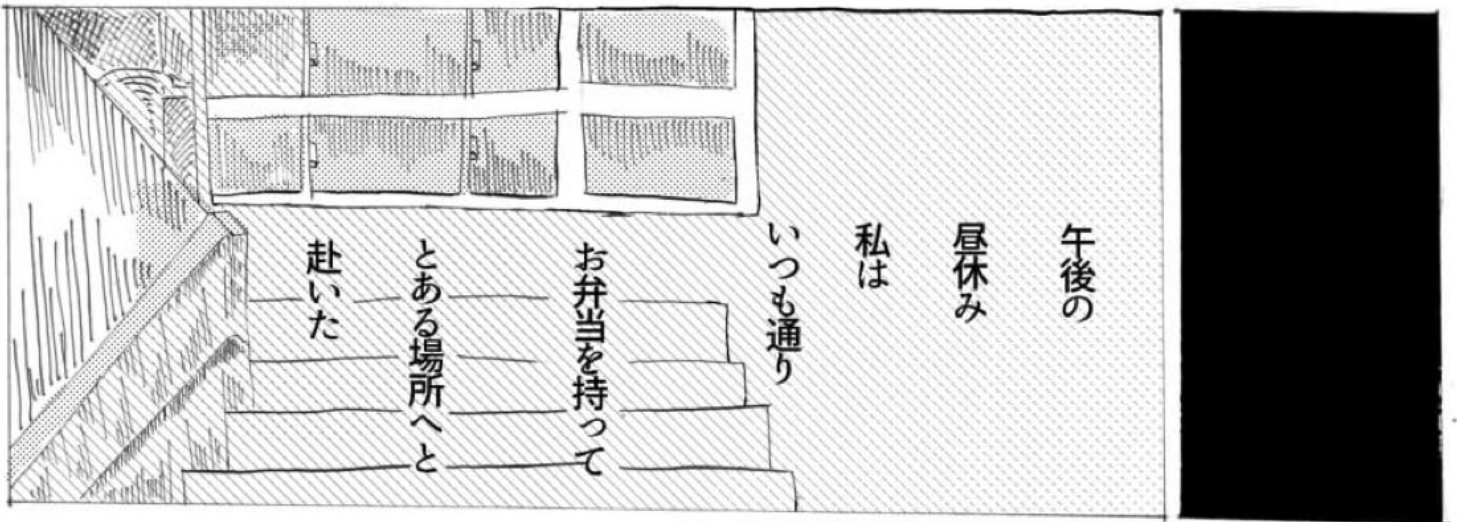


じゃあ  
今日は  
ここまで

起立  
礼

私は先生が好き





午後の

昼休み

私は

いつも通り

お弁当を持って

とある場所へと

赴いた

用があるのは

只一人だけ

それは――

わあー先生凄いですね！

聞きなれない

無駄に甲高い

女の声

ガウガウ ガウガウ  
ガヤガヤ ガヤガヤ  
ガウガウ ガウガウ  
ガヤガヤ ガヤガヤ

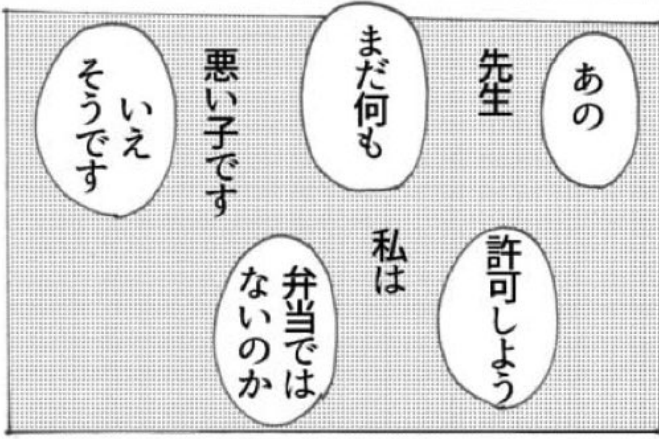


こんな時に  
思い出すのは 幼い頃の記憶  
壊した玩具

あれらは  
これと  
同じだ

そう思うと  
心が、  
楽楽に、  
楽楽に、

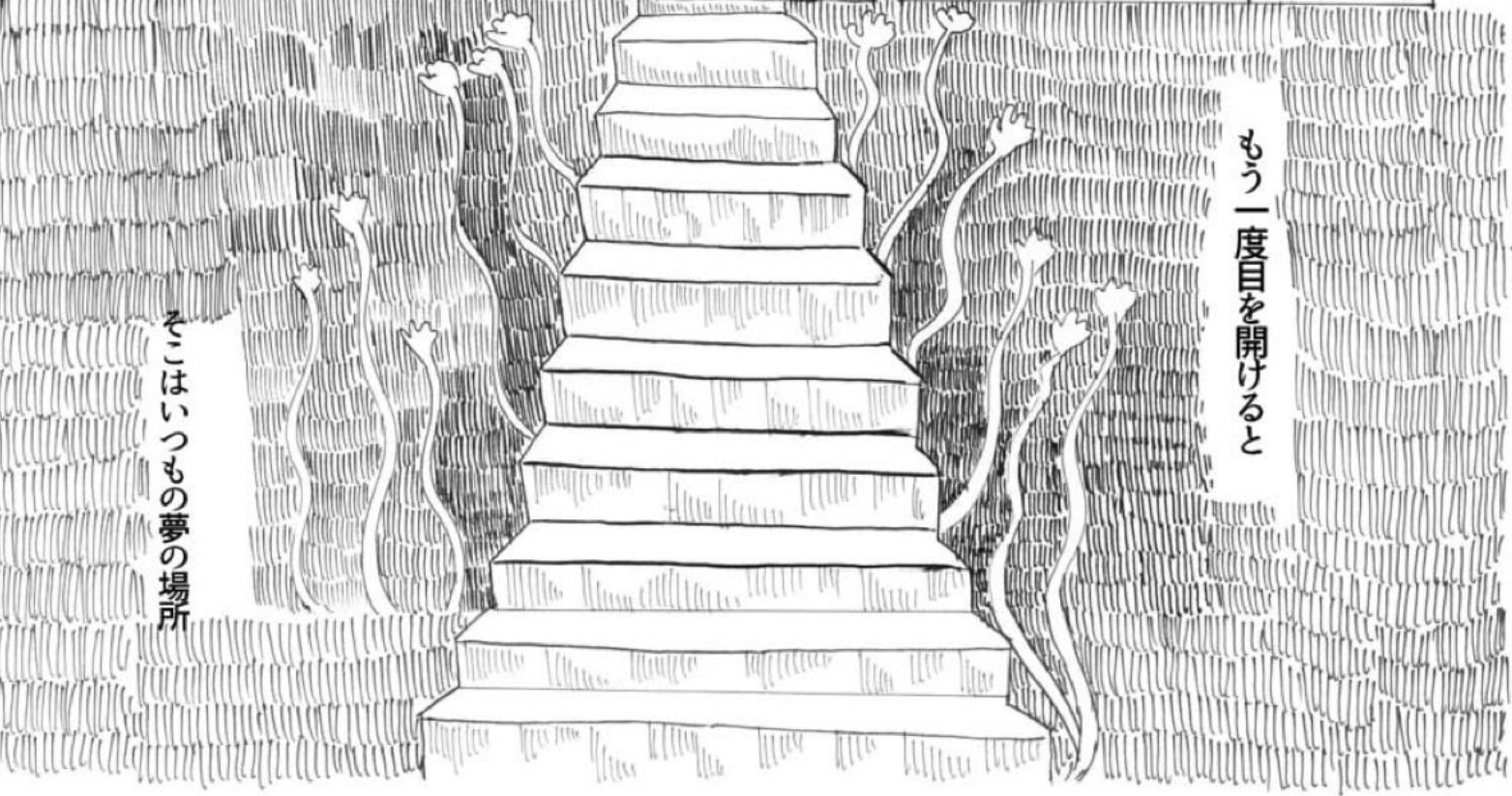
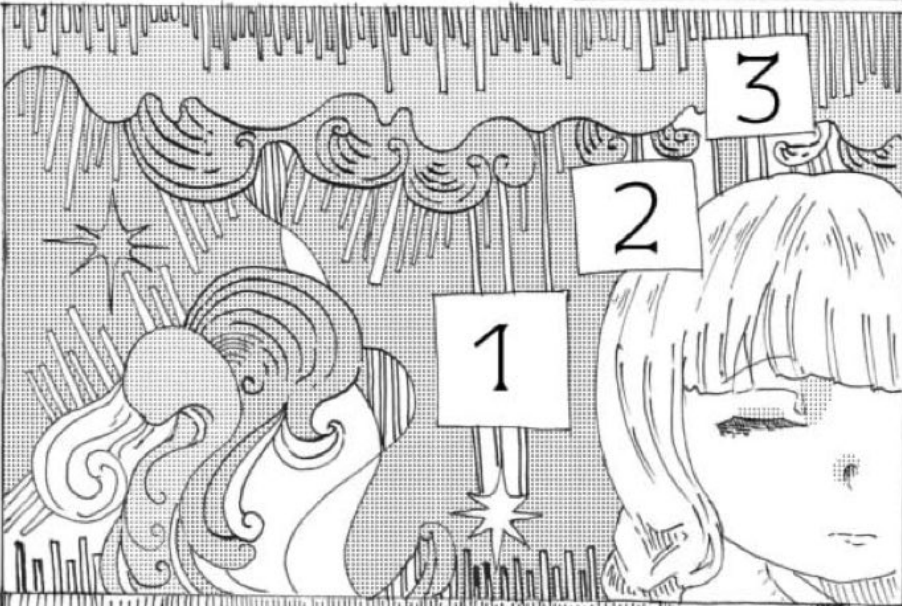
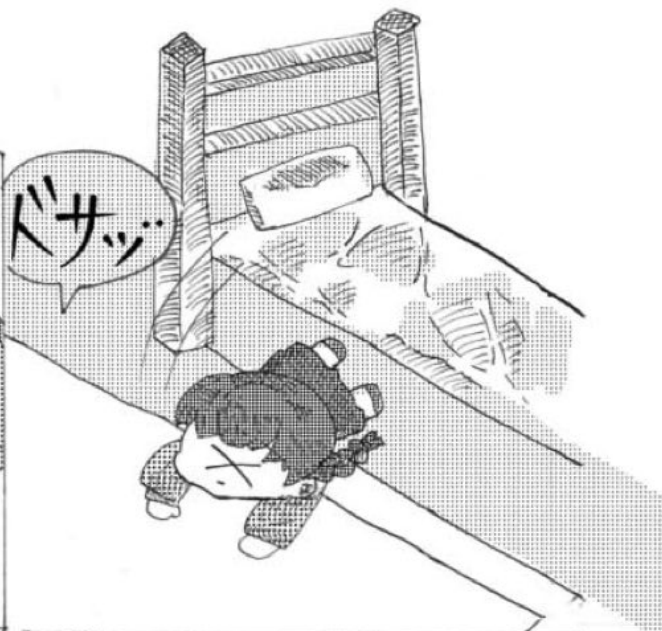




私が考え事を  
している間に  
邪魔者は  
消えていた

私を生徒として見てくれますか？

こんな悪い子でも先生は





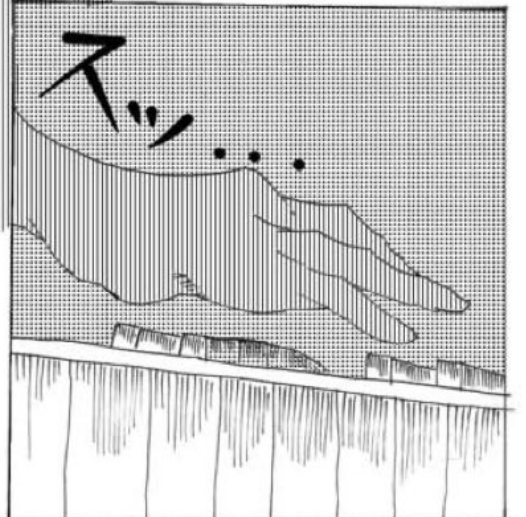
先生!

!

これは先生の秘密の時

誰にも邪魔されない私の空間

ねえ、先生  
私先生のピアノが聴きたい



スッ...

先生らしい音色

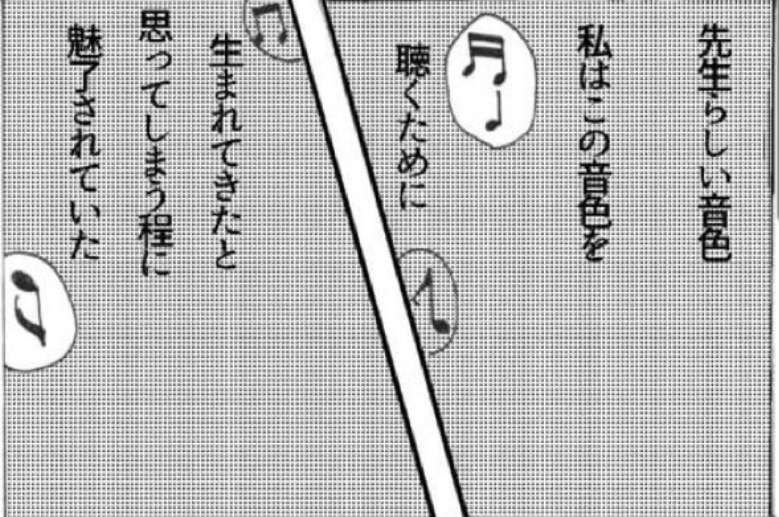
私はこの音色を

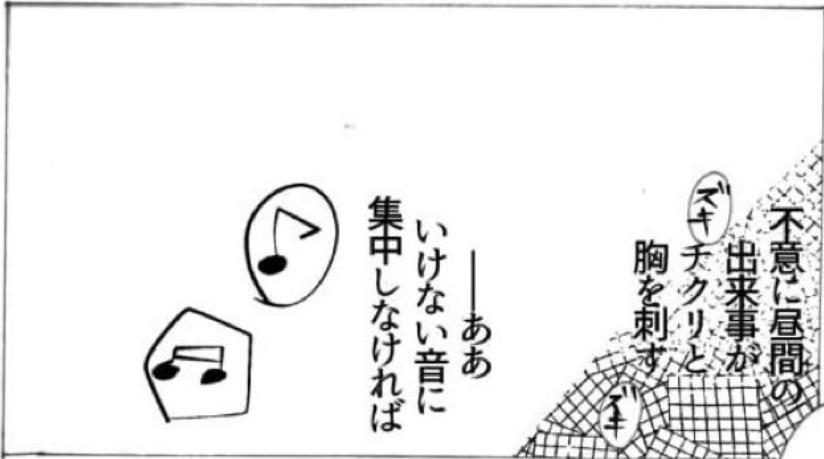
聴くために

生まれてきたと

思ってしまった程に

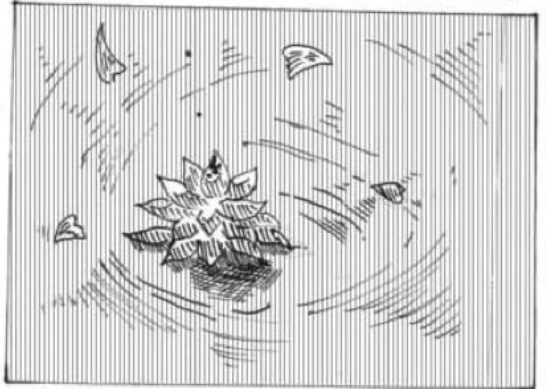
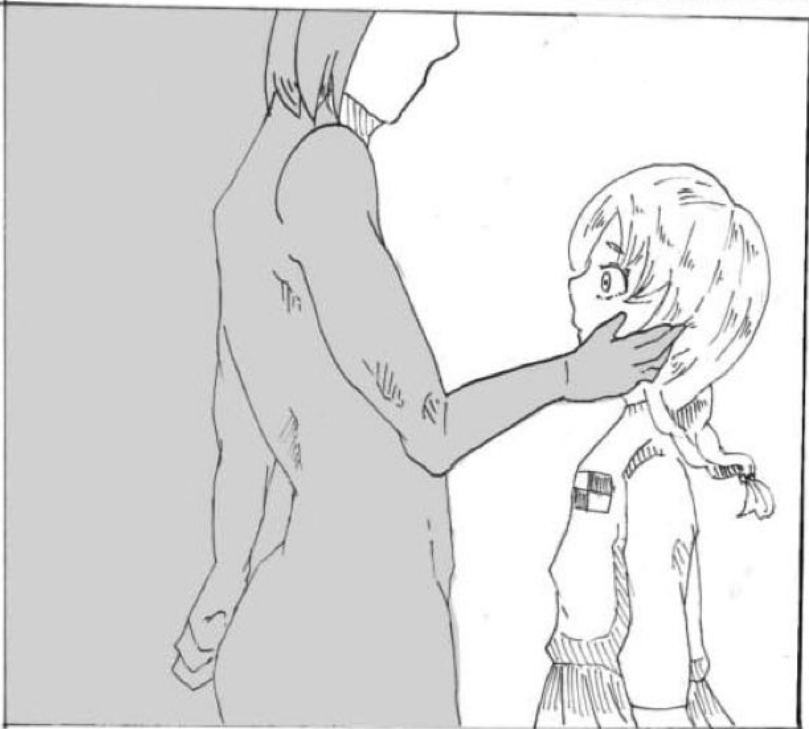
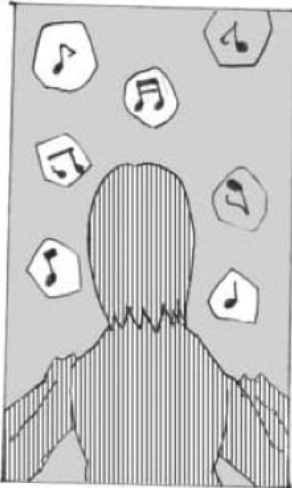
魅了されていた

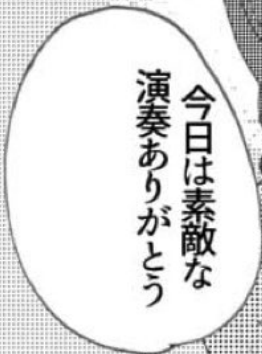
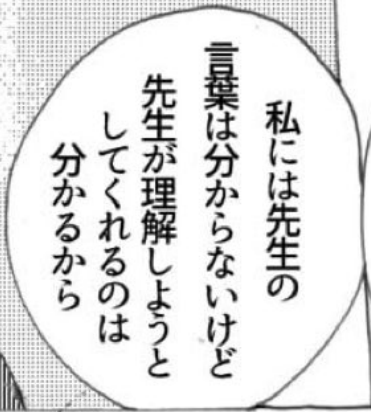




先生は先生の  
皆の先生だ  
誰の所有物  
でもない  
ましてや  
私が  
独り占めを  
して良い  
人でもないし  
そんな権利も  
ない

この胸の痛みは  
どう説明すれば良いのだろう

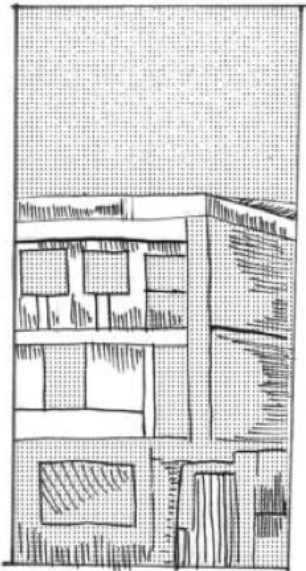






それじゃあ  
端から

カツ



あれ？

唇切れてる



コッ

おまけに今日は  
なんの因果か  
教科書中心の  
授業であった

(これまでの  
あらすじ)

コッ

コッ

この授業の間にも  
何度か意識を手放し  
そうになったことか

半ば覚醒状態の  
起床が悪かったのか

コッ



キーン  
キーン  
キーン

コッ

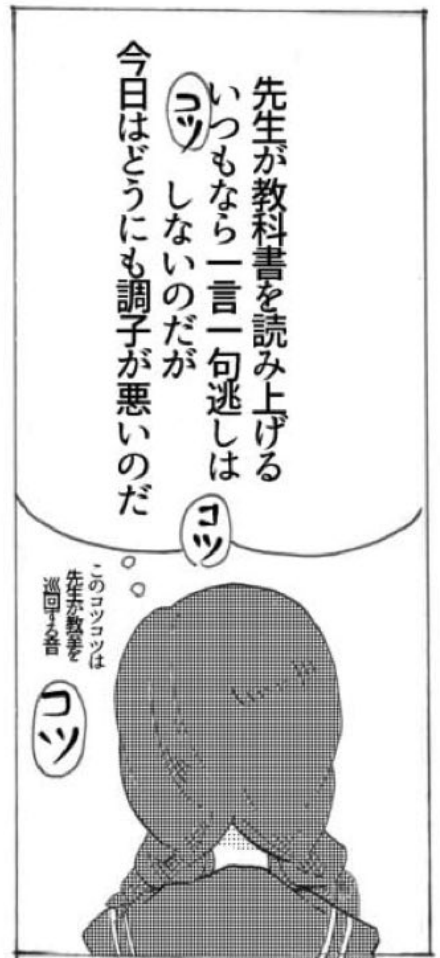
はい

今日は  
これまで

コッ



スッ



先生が教科書を読み上げる  
いつもなら一言一句逃しは  
しないのだが  
今日はどうにも調子が悪いのだ

コッ

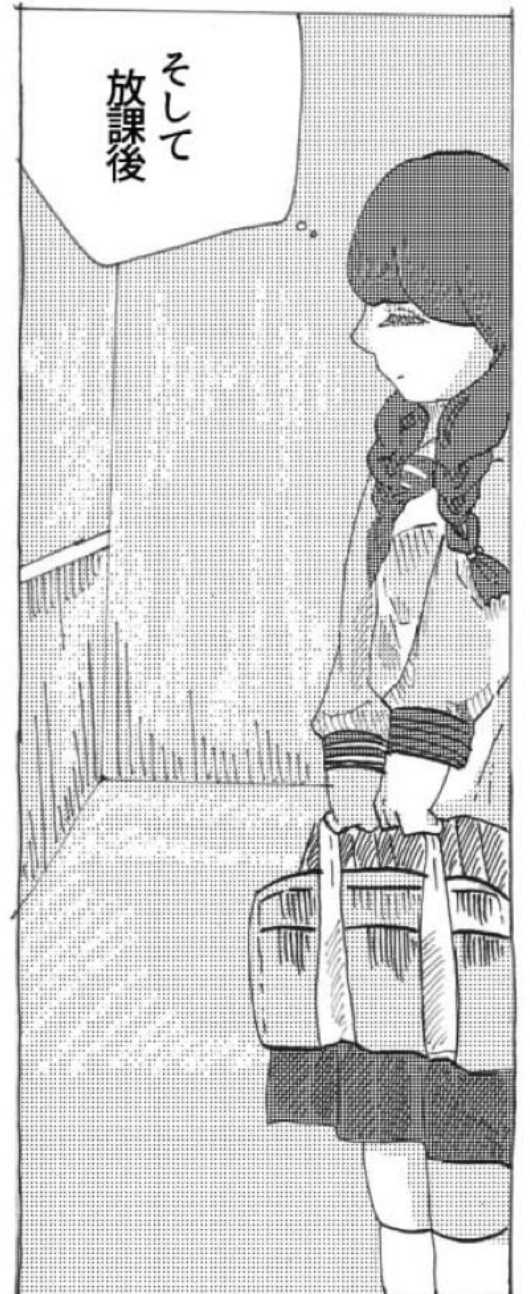
このコッは  
先生の授業を  
巡回し音

コッ

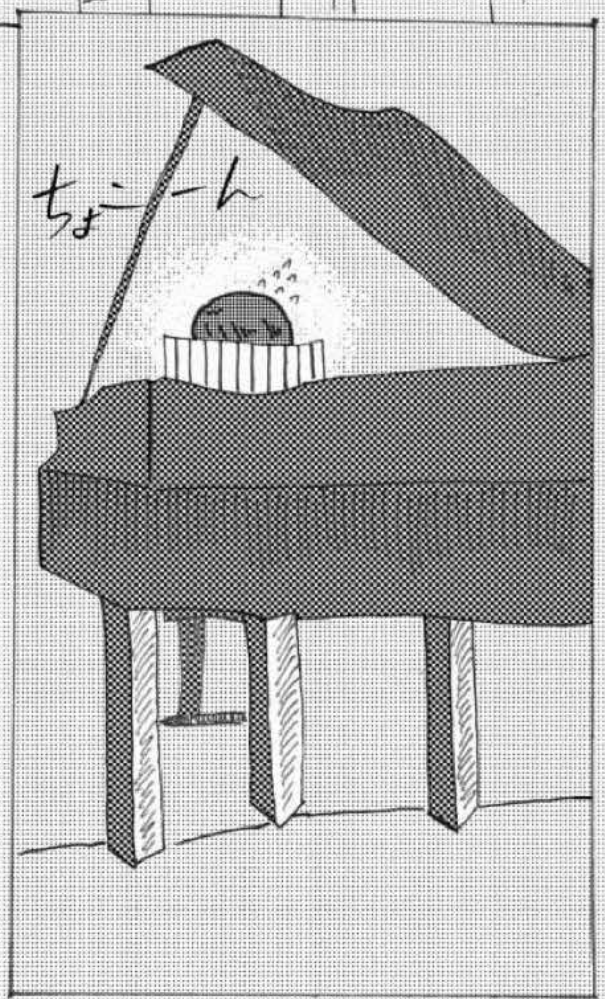
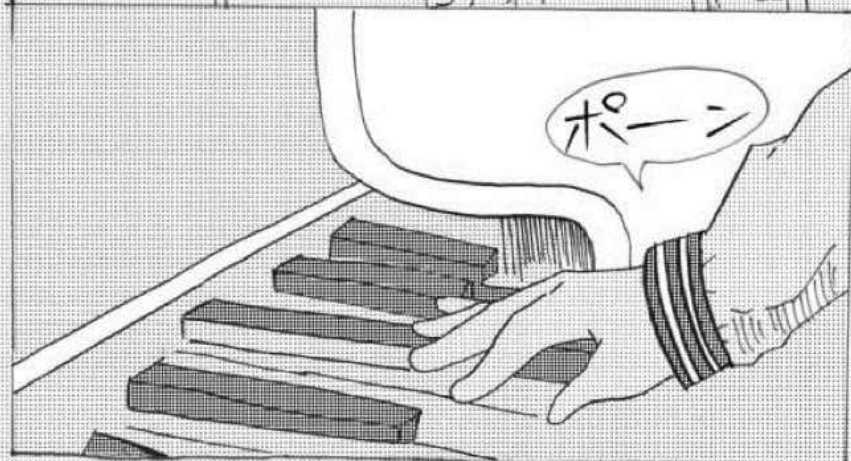
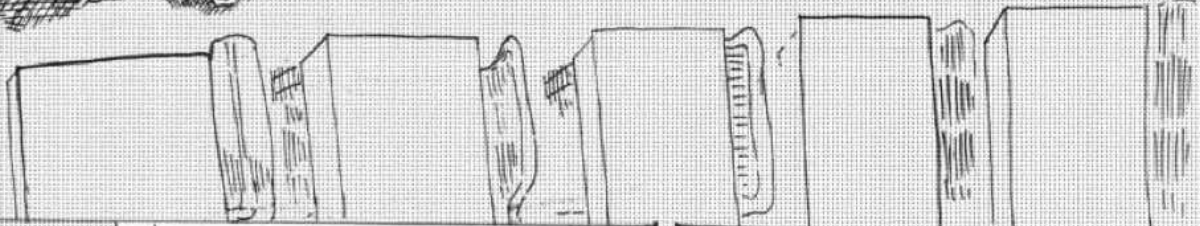


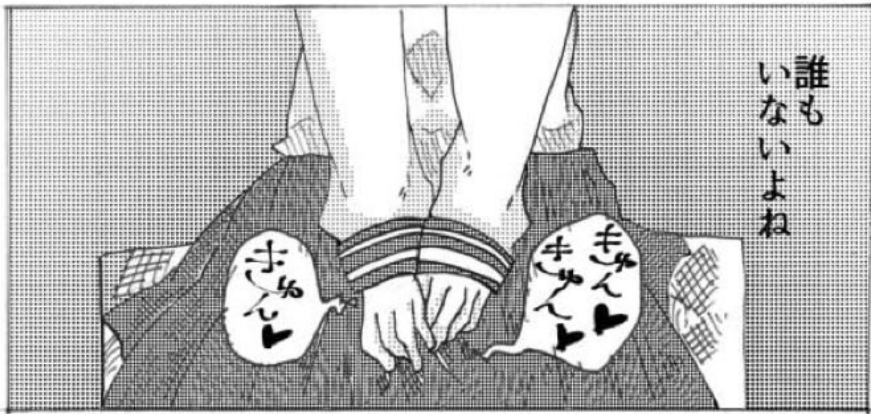
放課後  
此処(音楽室)に  
来なさい

コッ









誰も  
いないよね



先生来ちやうかもしれないのに  
どうしよう

音楽室で  
こんなはしたないこと



自分でも微かに気づいて  
いたのかもしれない  
否気つかないふりを私は無意識に  
していた

先生に対し生徒の  
垣根を越えて  
好意以上のものを  
抱いてしまっ  
ている事実







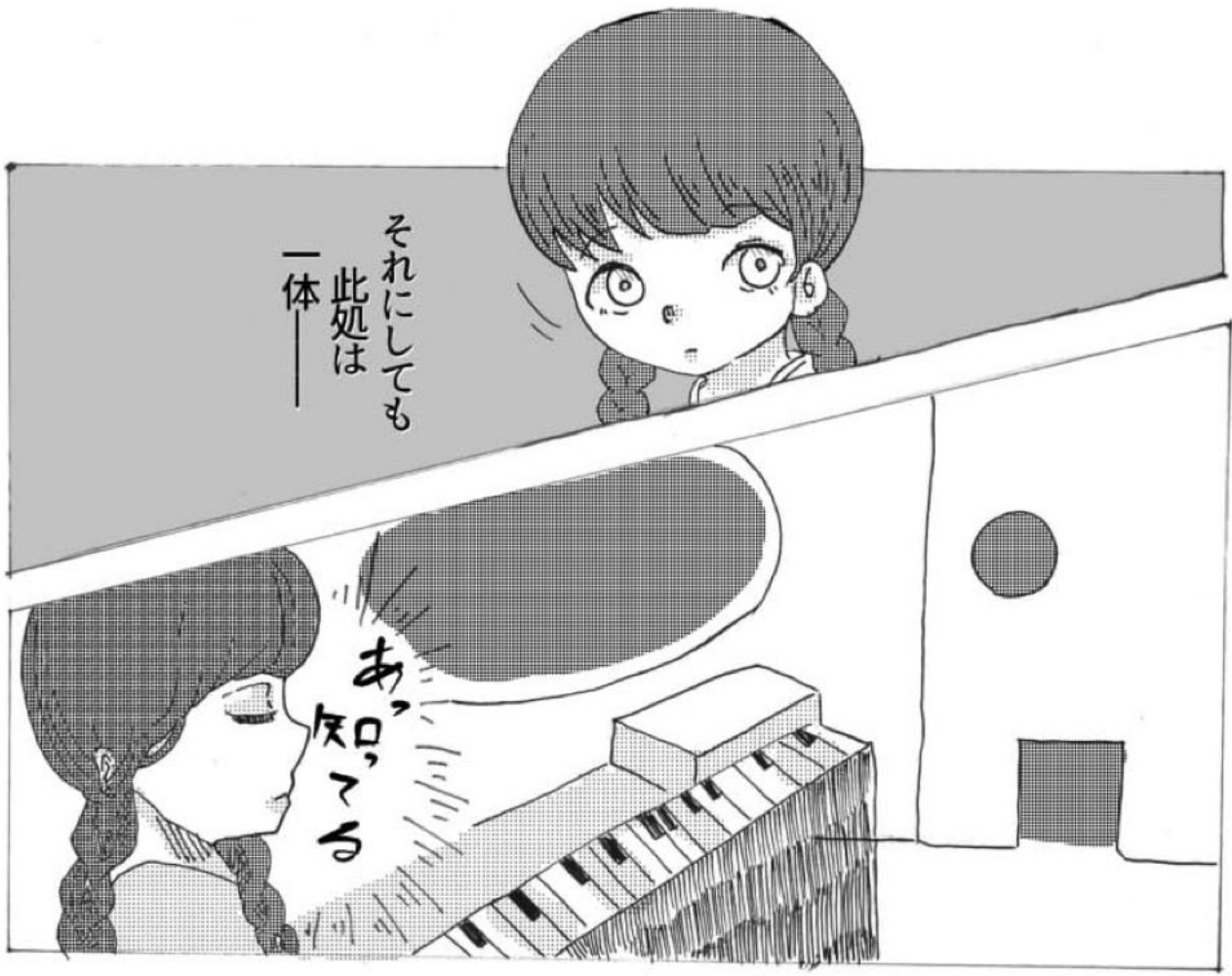
何して……？



私

あれ？





それにしても  
此処は  
一体

あ、  
知、  
る



どう?  
あれ?

いつもいる筈の先生がいない

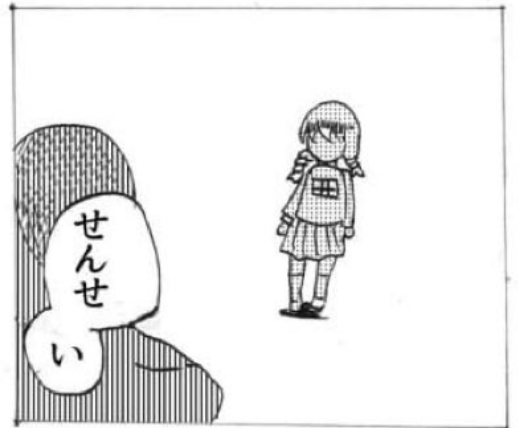


先生は何処?

私が悪い子だから  
先生はいなくなつた??

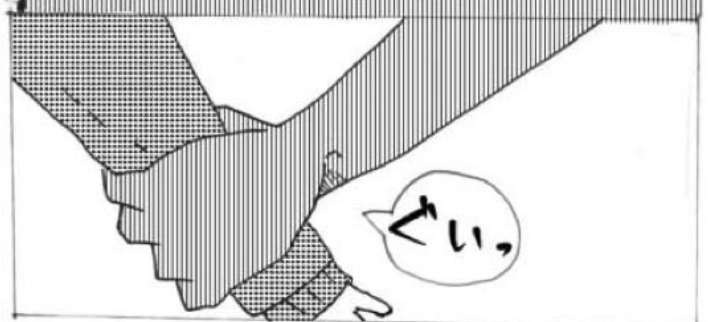


先生!!!



先生の寝室・・・  
振り向いた先生の顔は  
少し悲しそうな  
表情でした

そして私はこの後――





あの時先生は  
なんといったのか  
相変わらず私は  
先生の言葉が  
分からない

ただ私は先生に  
凭れかかるように  
落ちていった

落ちた？

何処に？

ああ

落ちる場所なんて

一つしかないじゃないか









先生は私の――

もう誰にも  
邪魔させない

もう誰にも  
邪魔させない

スッスッスッスッ



先生

――ねえ、好きにしていーいよ



スッスッスッスッ

スッスッスッスッ



早速来て貰って悪いが  
少し寝かせてくれ…  
どうにも調子が悪い



食べましよう!!



先生!

3  
2  
1



先生!!

ズキ

ズキ

…あとで  
食べるから  
そこに置いて  
くれ…  
あと音量  
下げマ



ズキ

じゃあ先生の  
ために作っただし巻き  
卵弁当は!!!  
って調子悪いから  
食べれるわけない  
ですよ…  
そうですね  
先生の体調以下略

なるほど  
それは大変—  
つてええっ!!?



ありがとう

ああ

ハタニ



ズキ

あまり  
無理はしないで  
くださいね

おやすみなさい

先生

良い夢を

ここまでお付き合いいただきありがとうございました!  
言い訳は長くなるのでやめました!  
ストーリー上の補足はしてもしたりないので雰囲気を読んで  
くださったのなら幸いです。  
セコ窓と表記しておきながらオチは完全に窓セコですね。  
肉体関係的にはセコ窓だけど精神的には窓付きちゃんが実は・・・  
みたいなのが好きです!!  
セコ窓に幸あれ!!!!!!

発行日：2018年3月  
サークル名：krT  
執筆者：tkc  
twitterID：takada527

この本は個人的に作られた二次創作同人誌です。  
原作その他関係者様とは一切関係がありません。  
内容に関してはフィクションであり、実在のものとは一切関係がありません。  
同人をご存じない一般の方や関係者様のお目に触れないようご配慮をお願いします。  
この本を手放す際はネットオークションは避け、  
中古同人ショップや燃えるゴミとしての廃棄をお願いします。